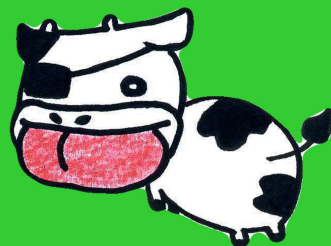


21・老福連 第15回 職員研究交流集会in宮城

第2号

たんたん



**聴かせてください！
あなたの仕事の喜びを！
気づきを！葛藤を！**



今年は11月7日～9日で開催する職員研究交流集会。
分科会で日頃の援助実践を発表してみませんか？
あなたの発表を聞いて、「目からウロコ！」という人や、「私もそこが悩みなよ～」と
感じる人、「私も頑張らなくちゃ」と励まされる人がいます。
参加申し込みはもちろん、分科会での演題発表のエントリーもお待ちしています！

ご参照ください！

分科会の発表原稿として、抄録の提出をお願いしています。抄録の書き方として、21・老福連のホームページに掲載しております「分科会抄録記入要領」を参照してください。

21・老福連

検索

分科会
エントリー **×切**
8月31日(月)

分科会
発表原稿 **×切**
9月15日(火)

今回集会までの期間に
余裕がありません。期限
厳守をお願いします。多
くの方のご参加をお待
ちしています。

参加申し込み
×切
9月30日(水)



大会テーマ

地域を支える福祉と私たちの役割
～大震災から4年を経て

1 日目の見どころ・・・記念講演☆

記念講演 I

「原発と震災－福島、被災地の今」

講師：浜通り医療生活協同組合 理事長 伊東達也氏



「東日本大震災での原発事故。被災から4年半経過した福島の今を報告します。現在も11万人余の方が、帰宅できないでいます。故郷に帰れない方々の思いを受け止め、国や自治体がすべきことは何なのか、私たちが出来る支援について考えたいと思います」とのお言葉を頂きました。原発再稼働の動きについてもご報告いただきます。



記念講演 II

「その方の生き方を尊重する介護」

講師：特別養護老人ホーム シルバーピアかりや
施設長 早川昌宏氏

「人は生まれ、病や、老いという苦に会い、それを経験に置き換え天命を全うし、死という未来への出発点に立ちます。東日本の震災から早4年。残された私たちは亡くなられた人の分まで生き抜かなければいけません。しかしながら、戦後70年の豊かさの恩恵の中、力強く生きていく事は簡単なことではありません。ここ被災地東北で、認知症ケアを通して今一度「生きることとは?」「人とは?」といった原点に戻って一緒に考えてゆきたいと思います。」



交流会 についてのお願い



11/7(土)19:00～
メルパルク仙台にて今年も交流会を開催！
仙台ならではの、旬のお料理を準備してお待ちしております！

地元のお酒、珍味、お菓子などをお持ちよりください！
一芸を披露してくれる方・施設を募集しています！

お酒等の郵送をされる場合

983-0021

宮城県仙台市宮城野区田子富里 223

高齢者福祉施設 宮城野の里 施設長 土谷

何卒、ご協力
お願いしま

